

株主通信

第36期 中間事業報告書

平成13年3月1日～平成13年8月31日

(PDF版)



この株主通信(PDF版)は、ホームページ用にデザイン等一部変更しております。

エスフーズ株式会社



日高こんぶ使用のしょうゆ味 「牛・もつ鍋」のおいしい召し上がり方。

【材料 2人前】

キャベツ1/4～1/2玉、ニラ2束、タカのみつめ少々(または一味)、スライスしたニンニク適量、うどん玉または中華麺、このほかお好みの野菜、お豆腐など。

【作り方】

1. お鍋に中身を移します。

ストレートだしですから、そのまま鍋に移し煮立ててください。お好みにより、タカのみつめ(または一味)、ニンニクなどを加えてください。

2. たっぶり、お好みの野菜。

煮立ったら、キャベツ、ニラなどの野菜、お豆腐などを加え、もう一度煮立ったらできあがり。

3. 残ったスープで雑炊やうどんすき。

残ったスープに、ごはんを入れ温めると美味しい雑炊に。うどん玉、中華麺を加えても美味しく召し上がれます。

株主のみなさまへ

平素は格別のご支援・ご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループ第36期中間期の業績につきまして謹んでご報告申し上げます。

今後共よろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年11月

取締役社長 森島 征夫



当中間期の営業概況についてご報告いたします。

当期の我が国の経済は、米国ITバブル崩壊にともなう経済の急減速の影響もあり雇用環境の悪化、日経平均株価の下落など厳しい状況が続く。個人消費の低迷、諸物価の下落などデフレ傾向が一層鮮明になっています。食肉業界におきましても、消費者の低価格志向が強まり販売競争は一段と厳しさを増しています。さらに欧州での口蹄疫感染の拡大、狂牛病問題の再燃、豚肉の関税率引き上げなど、当社グループの事業活動に大きな影響を与える諸問題が発生いたしました。

この厳しい経営環境の下、当社グループは「強い会社」を目指して中期経営計画「チャレンジ21」を策定し、ニッチパイオニアとしてバラエティーミット世界一、焼肉日本一へ向かって強力な活動を実施いたしました。その内訳は、まず昨年の西宮第2工場の国際品質規格「ISO9002」取得に続き、本年7月、当社全工場が「ISO9001」認証を取得したこと。つぎに、昨今の成長著しい焼肉レストランチェーンや中食向け販売の強化。そして、コンピューターによる連結経営強化をすすめる効率の業務体系プロジェクト「トータルグローバルシステム」の構築、および業務判断基準の柱となるエスフーズスタンダードの整備などです。

当中間連結会計は、以上のような経営努力にもかかわらず、売上高は278億6千4百万円(前年同期比1.3%減)となりました。また、利益面では競争激化による粗利益率の低下、(株)マイカルに対する債権を貸倒引当金に計上したこと等により経常利益7億7千3百万円(前年同期比26.5%減)、中間純利益3億3千7百万円(前年同期比19.3%減)と不本意な結果となりました。

今後を見通しますと、国内景気の低迷、国内初のBSE(狂牛病)問題、米国同時多発テロ、大手量販店の破綻問題など当社グループを取り巻く市場環境は一段と厳しさを増すものと予想されるため、通期計画を修正いたしました。

当社グループは、このように厳しい時期にあたり、消費者に「食に対する安心」を一刻も早く取り戻していただくため、経営理念にそって引続き「食べておいしく安全で健康に役立つ魅力あるスタミナ食品」を提供することにより、現状の困難を克服してまいります。

また、消費者のニーズに合う製品・オリジナル商品の開発に努め、新製品投入による拡販と外食及び中食市場を中心に売場開拓を行い、更なる焼肉文化の提案と普及を図ってまいります。

エスフーズ取り扱い商品・製品の安全性について。

(BSE(狂牛病)が発生していないアメリカ・豪州などからの輸入品です。)

当社の取り扱っている商品・製品原料は、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどBSE(狂牛病)の発生していない国から輸入したものです。これらの国では、法律に基づき、生産から輸出まで安全基準を定め、食の安全を厳重に管理しています。

当社は、「おいさと健康を愛する魅力あるスタミナ食品をもって世界に貢献する」ことを社是とし、つねに健康・安全性に留意した商品・製品づくりに真摯に取り組んでいます。

(100%安全性をめざす食肉衛生管理基準(HACCP)。)

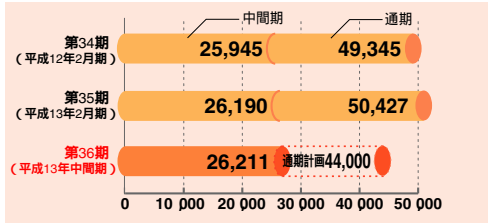
原産国および当社では、かねてより食肉衛生管理基準(HACCP)と呼ばれる国際基準のもとに生産・加工を行っています。このシステムは、食品の製造工程で予測される汚染などすべての危害を分析・管理する国際的な安全管理システムです。

(エスフーズ全工場がISO9001(国際品質規格)の認証取得。)

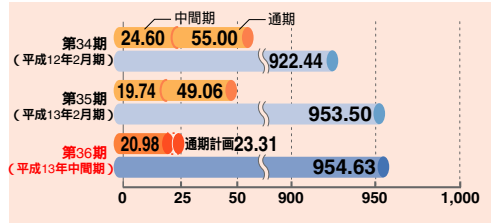
当社は、昨年7月の西宮第二工場ISO9002認証取得につづき、本年7月には全4工場がISO9001の認証を取得。当社の製造・加工工程の品質管理システムが国際規格に則して構築・運営されていることを実証しています。

当社の営業成績および資産状況の推移

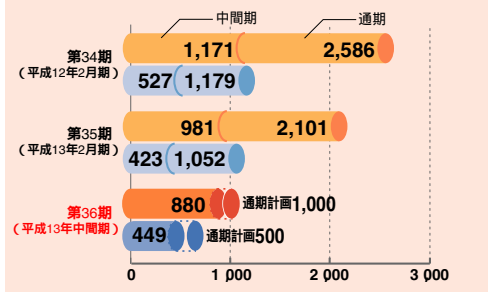
売上高 (単位: 百万円)



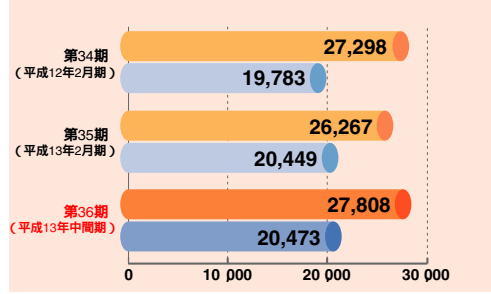
1株当たり当期(中間)利益/純資産 (単位: 円)



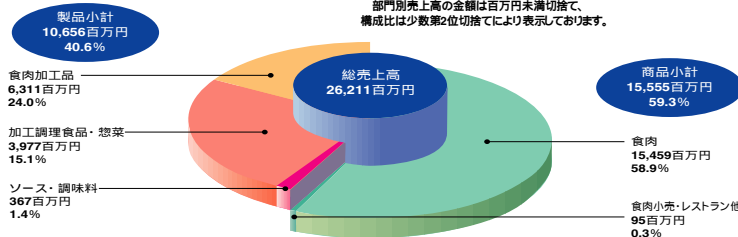
経常利益/当期(中間)利益 (単位: 百万円)



総資産/純資産 (単位: 百万円)



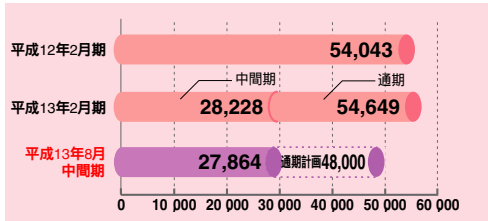
部門別売上高



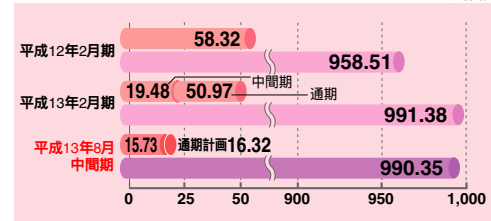
連結での営業成績および資産状況の推移

連結対象子会社: ミスタースタмина(株)、(株)ケンシヨク、FREMONT BEEF COMPANY

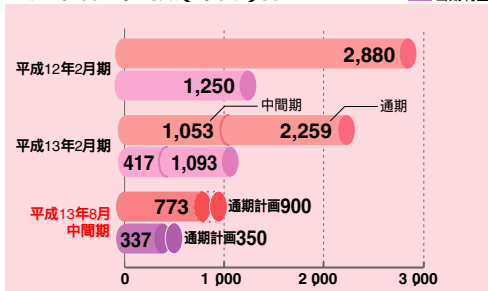
売上高 (単位: 百万円)



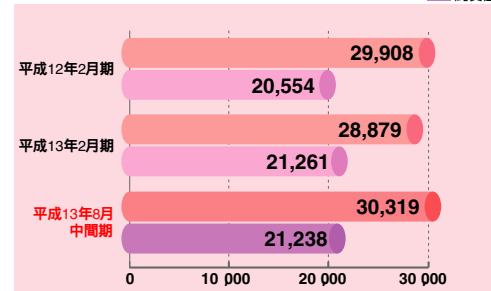
1株当たり当期(中間)利益/純資産 (単位: 円)



経常利益/当期(中間)利益 (単位: 百万円)



総資産/純資産 (単位: 百万円)



「中間連結財務諸表制度」は、平成12年8月中間期より導入しておりますので、平成11年8月中間期との比較表示はしていません。

連結キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)

科目	当中間期	前中間期
	平成13年8月中間期	平成12年8月中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	638	135
投資活動によるキャッシュ・フロー	82	446
財務活動によるキャッシュ・フロー	298	134
現金および現金同等物の期末残高	1,168	1,493

当社の貸借対照表および損益計算書

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当中間期 平成13年8月31日現在	前中間期 平成12年8月31日現在
資産の部		
流動資産	12,240	12,997
固定資産	15,567	14,941
資産合計	27,808	27,939
負債の部		
流動負債	6,904	7,663
固定負債	429	455
負債合計	7,334	8,118
資本の部		
資本金	4,226	4,226
資本準備金	4,171	4,171
利益準備金	590	540
剰余金・その他	11,485	10,882
資本合計	20,473	19,820
負債・資本合計	27,808	27,939

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当中間期 自平成13年3月1日 至平成13年8月31日	前中間期 自平成12年3月1日 至平成12年8月31日
経常損益の部		
営業収益	26,211	26,190
営業費用	25,607	25,218
営業利益	604	972
営業外収益	293	155
営業外費用	16	146
経常利益	880	981
特別損益の部		
特別利益	60	1
特別損失	210	235
税引前中間(当期)利益	730	746
法人税、住民税及び事業税	317	388
中間(当期)利益	449	423
前期繰越利益	960	904
中間(当期)未処分利益	1,410	1,327

流動負債

返済により、短期借入金が、1,000百万円減少しました。一方、仕入増による買掛金が587百万円増加しました。

固定資産

主な増加は、外国債券の取得及び、金融商品に係る会計基準適用により、保有目的に応じて有価証券(流動資産)から投資有価証券(固定資産)への変更によるものです。

営業外収益

主な増加は、為替差益によるものです。

特別利益

退職金給付会計基準の変更により、変更時の差異を計上しています。

要旨による表示の都合上、当社及び連結での損益計算書の「法人税、住民税及び事業税」以降に一部科目の省略があります。

連結での貸借対照表および損益計算書

連結対象子会社：ミスタースタミナ(株) (株)カンショク FREMONT BEEF COMPANY

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	13年8月中間期 平成13年8月31日現在	12年8月中間期 平成12年8月31日現在
資産の部		
流動資産	13,826	14,638
固定資産	16,493	15,809
為替換算調整勘定	—	132
資産合計	30,319	30,579
負債の部		
流動負債	7,427	8,426
固定負債	986	950
負債合計	8,413	9,376
少数株主持分	666	617
資本の部		
資本金	4,226	4,226
資本準備金	4,171	4,171
連結剰余金	12,773	12,187
自己株式・その他	66	0
資本合計	21,238	20,585
負債、少数株主持分及び資本合計	30,319	30,579

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	13年8月中間期 自平成13年3月1日 至平成13年8月31日	12年8月中間期 自平成12年3月1日 至平成12年8月31日
経常損益の部		
営業収益	27,864	28,228
営業費用	27,260	27,151
営業利益	603	1,077
営業外収益	211	138
営業外費用	41	162
経常利益	773	1,053
特別損益の部		
特別利益	81	1
特別損失	212	238
税引前中間(当期)利益	642	815
法人税、住民税及び事業税	356	424
中間(当期)利益	337	417

負債合計

主な減少理由は、流動負債において、返済により借入金が減少したことによるものです。

自己株式・その他

中間連結財務諸表規則の改正により、為替換算調整勘定は、「少数株主持分」および「資本の部」の自己株式・その他に含めて表示しています。また、自己株式・その他には、金融商品に係る会計基準の適用により、その他有価証券評価差額金を計上しています。

経常利益

主な減少理由は、低価格志向と競争激化による営業利益率の低下と(株)マイカルに対する債権を貸倒引当金計上したことによるものです。

エスフーズは5つの安全・安心システムをクリアした製品・商品だけをお届けしています。

食肉生産国におけるHACCP

米・豪など原産国では厳しい防疫対策の実施が法令により義務づけられています。また、HACCPによる安全・衛生管理が徹底しています。



当社アメリカ法人フリモントビーフカンパニーにおいても、HACCPによる安全・衛生管理を徹底しています。

輸出時(米・豪など)の検疫検査

食肉の輸出にあたっては輸出衛生検査証明書への「検査合格」明記が必要です。

輸入時(日本)の検疫検査

入荷時にも検疫検査が実施され感染食肉は徹底的に排除されます。

エスフーズにおけるHACCP

エスフーズにおいては全加工工程でHACCP(食肉衛生管理基準)により安全・衛生管理がチェックされます。

ISO9001認定工場での加工

ISO9001(国際品質規格)にそった品質管理を実施しています。

BSE(狂牛病)の発生していない国の安全・安心な食肉だけを輸入。

エスフーズが取り扱っている牛肉および牛内臓肉(商品・製品原料)は、原産国がアメリカ、カナダ、オーストラリアなど、BSEが発生していない国のもので、それぞれの国の厳しい法規制のもとで肥育・生産された食肉を輸入しています。

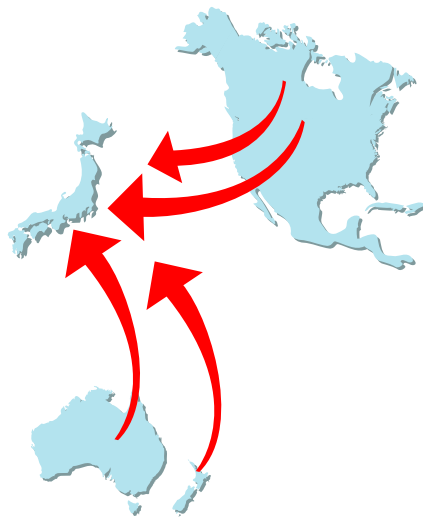
アメリカ

連邦法によって哺乳動物由来の動物性タンパク質を反芻動物の飼料として使用することを禁止。また、米国产の牛肉製品の輸出にあたっては、米国食品安全検査局の輸出衛生検査証明書に連邦法に沿った検査に合格している旨を明記しています。エスフーズの工場で使用している原料の約80%がアメリカ産です。

カナダ

法律に基づき反芻動物由来の動物性タンパク質を反芻動物の飼料として使用することを禁止。カナダ産の牛肉製品の輸出にあたっては、カナダ食品検査局発行の輸出衛生証明書に、BSEに感染していない食肉であることを明記しています。

「こてっちゃん」の原料はすべて北米産(アメリカ・カナダ)を使用しています。



オーストラリア
ニュージーランド

法律に基づき反芻動物由来の動物性タンパク質を反芻動物の飼料として使用することを厳しく禁止しています。また、オーストラリアでは世界最高レベルの安全基準を定め、生産から輸出まで、すべての過程を厳格に管理しています。

だから、エスフーズの食品は安全で、安心。

食肉生産・加工時の厳しい検疫検査「HACCP」。

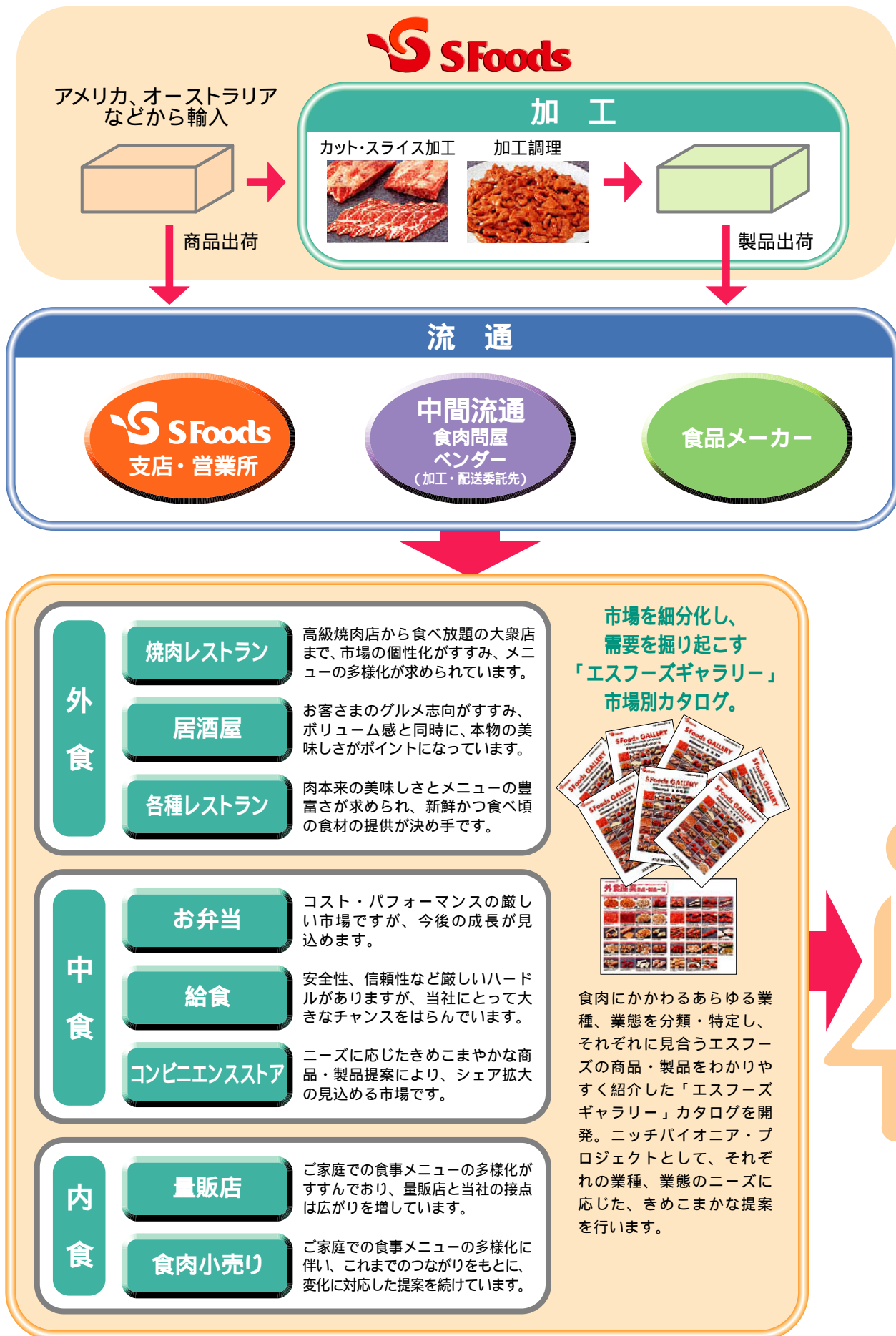
HACCP(食肉衛生管理基準)は、食品の製造・加工工程で予測される汚染などすべての危害を分析・管理することで、危害発生の原因を生産ラインから排除する世界でも最先端の安全管理システムです。当社および食肉原産国のアメリカ、オーストラリアのパッカーは、すでに全工程でこの衛生管理基準を稼働させており、国際的なHACCPチェーンの構築により高度な安全・衛生管理が行われています。

国際的な食肉加工の品質検査「ISO9001」。

昨年7月、西宮第二工場のISO9002認証取得につづき、本年7月には全4工場がISO9001の認証を取得。当社の製造・加工工程の品質管理システムが国際規格に則して構築・運営されていることを実証しました。当社はこの品質管理システムを維持・継続しながら、さらに「おいしくて、安全で、健康に役立つ、納得できる価格の商品と製品」をお届けしてまいります。



市場創造とシェア拡大を強力に推進する ニッチパイオニア・プロジェクト。



焼肉市場を拓けるニュートレンド「豚肉」

これまで牛肉中心に展開してきた焼肉市場に「豚肉」のニュートレンドの兆し。豚肉の美味しさ、栄養価の高さが見直され、市場で人気が高まっています。エスフーズは、「旨豚」ブランドでP-トロ、タンなど独自の商品・製品の提供を本格化し、市場創造を推進してまいります。



秋・冬「鍋」前線に「おいしさ」を提案する「もつ鍋」「煮込み」「おでん種」。

エスフーズの「具入り鍋」シリーズが、スープのおいしさを加えて、ますます充実。手軽で簡単に本格的な「牛もつ鍋」や「キムチ鍋」「白湯鍋」など家族そろって囲めるおいしい鍋料理を提案します。このほか、あったかカンタン煮込み製品や、いろいろな煮込み料理に使える新鮮チルドパックシリーズ、あたためるだけでおいしい本格こく旨スープ、牛どて焼など、今年の冬もエスフーズの人気アイテムがご家庭の食卓をホットに彩ります。



「牛もつ鍋」スープのおいしさもパッケージもパワーアップ。

だし醤油と日高こんぶで仕上げたコクと旨み。
牛・もつ鍋しょうゆ味



天然醸造の仙台味噌と信州・八丁味噌のコクと深み。
牛・もつ鍋みそ味



韓国唐辛子とコチジャン・テンジャンを加えた本格ピリ辛。
キムチ鍋

手軽でおいしいから大好評。あったかカンタン煮込み製品。



牛白もつ



牛もつ煮込み



特上肉厚牛もつ



新製品
岩塩と焙煎にんにくでコクと香りをプラス。
とんこつスープの「にんにく白湯鍋」。

やわらかく煮込んだ牛すじと、コク味ゆたかなモンゴル産の岩塩を使った、とんこつベースの白湯スープに、ローストガーリックを加えることにより、深みのある味わいに仕上げました。牛もつ鍋とは、ひと味ちがうコクと深い味わいに人気を集まりそうです。

色々な鍋につかえる本格こく旨スープ



もつ鍋スープ しょうゆ味



豚みそ鍋スープ



キムチ鍋スープ

新製品 お酒の肴にも最適な「牛どて焼」新発売。

本格的な「どて焼」を、ご家庭でお手軽に、美味しく。新発売の「牛どて焼」は、濃厚な味わいに、ピリッとした辛みをきかせた特製味噌だれで味付けた本格派。お湯か、電子レンジで温めるだけでカンタンにお召し上がりいただけます。



牛どて焼

おでんにかかせない「神戸串太郎」。

厳選した材料を使った、高品質のおでん用具材。下煮込みして、程良いやわらかさに仕上げられています。



神戸串太郎 牛すじ串



神戸串太郎 牛アキレス串

業務用

牛白もつ
1kg

ボイルすじカット
1kg

ボイルアキレスカット
1kg

エスフーズ会社概要

役員	従業員数	事業所
取締役社長 森島 征夫	416名	本社
取締役副社長 永坂 峰一	(男性349名・女性67名、平成13年8月末現在)	〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13
常務取締役 中山 稔	年間売上高	TEL.0798-43-1065(代表)
常務取締役 田中 基裕	504億円(平成13年2月期実績)	東京本社
常務取締役 朝永 直樹	事業内容	〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町24番38
常務取締役 富沢 進	食肉類の加工販売	TEL.047-435-0811(代表)
取締役 旦 有孝	食肉加工品の製造及び販売	支店
取締役 田中 正紹	ソース、調味料の製造及び販売	名古屋、九州
常勤監査役 青島 貴世雄	系列会社	営業所
監査役 大広 雄二郎	ミスタースタミナ株式会社	札幌、仙台、茨城、船橋、北関東、八王子、横浜、
監査役 小西 英雄	株式会社味兆	静岡、長野、岡崎、東海西、京都、西宮、りんくう、
監査役 中野 正信	株式会社ケンシヨク	和歌山、姫路、岡山、広島
設立 昭和42年5月22日	すこやか食品株式会社	出張所
資本金	FREMONT BEEF COMPANY	浜松
42億2,664万円(平成13年8月末現在)		工場
		西宮、西宮第二、船橋、船橋第二

株式の状況 平成13年8月末日現在

発行する株式の総数	発行済株式の総数	株主数
76,500,000株	21,446,659株	2,583名(前期末比23名減少)
大株主		

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ファイブエム	4,835,087	22.54
丸紅株式会社	3,217,550	15.00
森島 征夫	1,328,908	6.19
伊藤ハム株式会社	838,888	3.91
三井物産株式会社	705,830	3.29
株式会社三和銀行	610,790	2.84
包括信託受託者 さくら信託銀行株式会社 (委託者 株式会社さくら銀行)	610,000	2.84
株式会社マイカル	500,000	2.33
エスフーズ従業員持株会	353,600	1.64
株式会社カウボーイ	312,100	1.45

(注) 株式会社さくら銀行は、平成13年4月1日をもって、株式会社住友銀行と合併し、株式会社三井住友銀行となりました。

株価の推移と株式の売買高



商法改正について

「商法等の一部を改正する等の法律」(平成13年法律第79号)が、平成13年10月1日に施行されましたので、株主さまに関係のある事項をお知らせします。

- 1.単位株制度が廃止され、単元株制度になりました。**
 当社は、1,000株を1単位としていましたが、10月1日から1,000株を1単元としました。
 1 1単元未満(1,000株未満)の株式については、従来どおり買取請求することができます。
 2 株主総会の議決権の数え方が、1,000株で1個となります。
 (2,500株ご所有の場合、従来は議決権株数2,000株と表示していましたが、今後は議決権数2個と表示します。)
- 2.単元未満株式の買取手数料を無料としました。**
 当社は、今回の商法改正に伴い単元未満株式の買取りにつきまして、「株式取扱規程」の一部を次のとおり変更しました。
 1 従来、株主さまにご負担いただいていた「買取手数料」を無料としました。
 2 買取価格を決定する証券取引所を、従来の大阪証券取引所から東京証券取引所に変更しました。
 ただし、東京証券取引所において売買取引がないときは、大阪証券取引所における最終価格を適用するものとします。
- 3.額面株式の制度が廃止されました。**
 当社の株式は1株の額面金額を50円としていましたが、10月1日から額面株式の制度が廃止されました。
 なお、現在ご所有の株券(1株の額面金額50円と記載)は、従来どおり証券取引所において流通しますので、株券お引き換えの手続きは、一切ご不要です。